

「元日の未明に」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

元日といえば・・・初日の出に初詣である。多くの日本人が今でも楽しみにしている習慣である。地球は西から東に向かって自転しているの、当然日の出は東のほうが早い。しかし、現在太陽は南回帰線付近にあるので、単純に東ほど日の出が早いというわけではない。列島付近の「等日の出時刻線」を描いてみると、南北に並行ではなく、およそ南南西～北北東に並行だということがわかる。離島を除くと、日本で一番初日の出が速いのは、銚子市犬吠埼である。しかしこれは、海拔0での比較であって、日の出は標高が高い場所ほど早くなる。標高3776Mの富士山がダントツだが、

これは重装備と体力が必要。普通に行ける場所では、鴨川市の清澄山というところが一番早いらしい。

さて、元日の早朝、初日の出よりも前に嬉しいイベントがある。ISS(国際宇宙ステーション)が本州上空を通過するのだ。ISSは高度400kmを飛行しているので、地上よりも1時間以上早く日の出を迎える。5:35～5:38にかけて、鹿児島から北海道の広い範囲で、「今年最初の太陽光に照らされたISS」を見ることが出来る。初日の出よりも更に前に、地上から「太陽光」を見られるということである。初日の出を見る時や初詣の帰りに、是非観望してほしい。

